

## 3月議会 一般質問

- ①自治体DXの推進
  - ②各種計画について
- について質問しました！



動画編集をしました！  
ぜひご覧ください



### 1 自治体DXの推進

DXとは「デジタルトランスフォーメーション」の略で、デジタルを活用して社会変革を促す営みを指します。業務効率化・生産性向上の手段であり、少子高齢化や労働力不足など「2040年問題」に対応するための国の重要施策に位置付けられています。

館山市は、国が示す「自治体の情報システムの標準化・共通化」に取り組み、他の自治体よりも1年前倒しして移行作業を完了したという回答がありました。これは端的に素晴らしい成果です。

これにより、オンライン申請の拡大や所謂「書かない窓口」のような来庁者の手間や待ち時間を減らす行政事務の土台が整ったようです。しかし、システム導入には多額の費用がかかるため、いつからというスケジュールは示されませんでした。

今年7月1日から開庁時間が「午前8時30分から午後5時まで」だったところが「午前9時から午後4時30分まで」に変更になります。職員

減による負担を考慮するとやむを得ないところですが、本来であればDX化と相補的に進めるべきであったと考えます。

何より庁内の情報処理を分野横断して共有し、さまざまな事務手続きを改善していかなければ人手不足は補えません。単なる効率化ではなく、空いた時間を住民とのコミュニケーションに十分に活用できるようDXの推進を要望しました。

### 2 各種計画について

決算や予算審査を行うと、必ずといっていいほど「〇〇計画策定」といった項目が出てきます。これは、主に外部コンサルタントに委託している人件費です。過去5年間の策定業務にかかった費用を聞くと、1億円に上ることが分かりました。

人手不足ならば、どこの自治体でも作成しているようなページはなるべく減らすべきです。何より重要なことは住民から直接課題をヒアリングして、その解決策を練り、成果指標を設けて挑戦していくことです。

今まさにR8年度から始まる総合計画の策定期間中ですが、今年度から「都市計画マスタープラン」の見直し、「立地適正化計画」の策定が始まります。特に後者は、人口減少や少子高齢化が進む中で、持続可能な都市構造を目指し、都市の機能や住宅を適切な場所に集約・誘導するためのマスタープラン。つまり、郊外

は特に新規の居住が制限される他、都市への居住が誘導されるわけです。もちろん強制力はありませんが、非常にデリケートな内容が含まれています。

昨年秋に開かれた、総合計画と両計画を合同した将来像を地区別に考える懇談会の参加者数は24人と低調でした。行政が一方的に決めた計画に住民が従うことは考えづらいでしょう。まずは、住民に身近な地域の未来を共に考えていくべきです。今回は、総合計画に地区別計画を追加すること、そして森市長に地区の巡回を要望し、どちらも前向きな答弁をいただきました。



### ビーチマーケット 月一開催に挑戦

事務局を担当させていたでいる「北条海岸ビーチマーケット」が今年10周年を迎え、4月から11月の期間（8月のぞく）、第一日曜日の月一開催に挑戦することになりました。会場のキャパも限界を迎え、より一層観光イベントとして地域内外の交流を促進し、千葉県が誇る館山湾を多くの方に知っていただく機会になればと思います。来年も続けられるのか実証実験に近い試みですが、地域外の人が地域とつながる場として定着できるよう頑張ります。ぜひご都合よい機会に遊びにきてください。